

3年生 数学の予習課題（2年確率） ～第6章 確率～ ②（2回目の更新）

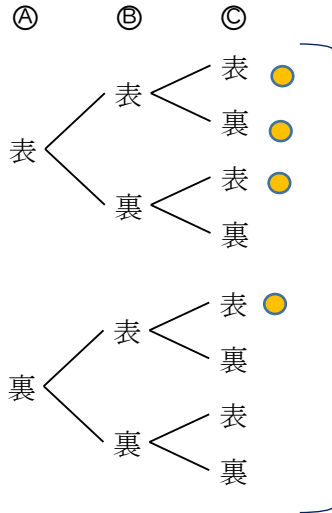
質問の多かった問題について

〈例題2〉

3枚の硬貨を同時に投げるとき、少なくとも2枚は表となる確率を求めなさい。

3枚の硬貨を A,B,C と区別すると、

←硬貨は区別する！



全部で8通り

“少なくとも2枚は表”とは、

3枚中に表が3枚か2枚の場合を考えるので、

表が3枚（表，表，表）●

表が2枚（表，表，裏）●

（表，裏，表）●

（裏，表，表）●

となり、“少なくとも2枚は表”となる出かたは、全部で4通りある。

よって、求める確率は、

$$\frac{4}{8} = \frac{1}{2}$$

〈問4〉3枚の硬貨を投げるとき、次の確率を求めなさい。

(1) 3枚とも裏となる確率を求めなさい。

←これは〈例題2〉と

同じ樹形図になりますね！

（裏，裏，裏）の1通りだから、確率は  $\frac{1}{8}$

(2) 少なくとも1枚は表となる確率を求めなさい。

☞ 3枚中に表が3枚か2枚か1枚の場合

表が3枚（表，表，表）

表が2枚（表，表，裏）、（表，裏，表）、（裏，表，表）

表が1枚（表，裏，裏）、（裏，表，裏）、（裏，裏，表）

となり、少なくとも1枚は表となる出かたは、全部で7通りある。

よって、求める確率は、 $\frac{7}{8}$

☞ “少なくとも1枚は表”となる確率は“3枚とも裏にならない”確率ですから、 $1 - (\text{3枚とも裏となる確率})$ でも求めることができそうですね。

その他

・「基本のたしかめ」「章末問題」は、MathNavi2（マナビ2年）を見て丸つけまで行ってから提出してください。